

H21 7月31日(金)奈良新聞朝刊

復活へ

清流 大和川の挑戦

「日本一汚い川」からの脱却

7

県は、昨年度に7月の第3月曜を「奈良県山の

をほぐくみ次世代へ引き継ぐ狙いがある。

みとして、NPOとの協働イベントも開催され

また「歴史・文化講座」も開催され

体験ツアー」は明日香村栢森の飛鳥川が舞台。参加した子どもたちは、川の石をひっくり返して採集したサワガニやカゲロウなどを観察。豊かな生態系が息づく源流の自然の良さを実感した。

体験参加で愛護意識

日・川の日」とする全国でも初めての条例を制定した。海に面していない

今年は今月20日を中心

た。「ふるさと大和川源流」は桜井市で開催され

た。参加者は山辺の道を南下し、大神神社や金屋の石仏から大和川を遡

「県山の日・川の日」の取り組み



NPOとの協働イベント「ふるさと大和川源流体験ツアー」は今年20日、明日香村栢森の飛鳥川

終着地であった海拓榴市まで巡り、川の重要な役割について学んだ。20日に先立って14日に

は、奈良県と大阪府の大和川流域の主要駅7カ所で水質改善啓発キャンペーンを実施。啓発グッズ約3千個を配布、国交省や大阪府と連携し大和川の水質改善を呼び掛けた。県河川課は「河川愛護意識が高まってきており、イベントへの応募・参加者も増えてきている。イベントに参加し、実際に川の水質を知ってもらうことにより、川を汚さないよう生活排水の浄化など、川への気遣いを持つてもらえるのでは」と期待している。

載

毎月1回、下旬に掲